

平成18年度事業報告

財団法人神戸大学六甲台後援会の平成18年度（平成18年4月1日～平成19年3月31日）の事業報告及び財務諸表につきましては、平成19年6月18日に開催されました理事会及び評議員会で監査報告を含めて報告・承認されたところですが、ステークホルダーの皆様方に本財団の事業活動をご理解いただきたく、ホームページ上で、①学术交流の促進、②学術成果の公開、③教育の充実、④学術基盤の整備、⑤学术交流施設の維持という、本財団が行う主要な事業の別に、その助成又は補助の概要についてご報告させていただきます。

1 学术交流の促進

(1) 海外研究活動支援（海外研究活動や海外学会派遣等への助成）・・・ 17,572千円

○経済学研究科 (4,713千円)

・入谷 純教授（平成18年4月～9月、イギリス）

目的：租税理論の研究に関する資料及び情報収集

・重富公生教授（平成18年7月～8月、イギリス）

目的：1851年ロンドン万国博の開催事情に関する資料収集

・片山三男講師（平成18年9月～10月、ドイツ）

目的：東西ベルリンの道路交通事情の調査研究及び資料収集

○経営学研究科 (6,320千円)

・波田芳治講師（平成18年4月、アメリカ）

目的：米国ワシントン大学における交換留学計画の打合せ

・三矢 裕助教授（平成18年4月～19年3月、アメリカ）

目的：管理会計に関する在外研究のため

・桑原哲也教授（平成18年6月～7月、イギリス）

目的：外国企業の対日投資と在日経営に関する経営史的研究に関する資料調査等

・松尾博文教授（平成19年1月～2月、アメリカ）

目的：サプライチェーン・マネジメントの研究打ち合わせと学術雑誌の編集会議への出席

・栗木 契助教授（平成19年2月、アメリカ）

目的：グローバル・マーケティング・マネジメントに関連するヒアリング、研究打合せ、資料収集

・村上英樹助教授（平成19年3月、シンガポール）

目的：交通セミナーにおける報告並びにアジアにおける低費用航空会社に関する資料収集

・平野光俊教授（平成19年3月～5月、イタリア）

目的：コア人材育成のためのキャリア開発と人事部の役割の日・伊国際比較調査

- 法学研究科 (3,300千円)
 - ・関根由紀助教授 (平成19年3月～20年2月、フランス)
 - 目的：フランスとEUの社会的排除に対する法政策の研究
- 国際協力研究科 (2,479千円)
 - ・松並 潤教授 (平成18年11月～12月、イギリス)
 - 目的：英国の地方分権改革および、それに関する行政学教育の現状の調査
 - ・五十嵐正博教授 (平成19年3月、ギリシャ)
 - 目的：戦後補償裁判に関する資料収集および聞き取り調査
 - ・駿河輝和教授 (平成19年3月、ハンガリー)
 - 目的：移行国ハンガリーにおける民営化と労働市場に関する研究
- 経済経営研究所 (760千円)
 - ・上東貴志教授 (平成18年4月～19年2月、フランス)
 - 目的：人口減少化における経済成長に関する情報収集他
- (2) 外国人研究者 (海外在住日本人研究者を含む) 招聘支援・・・ 1,205千円
- 経済経営研究所 (1,205千円)
 - ・浜田宏一教授 (平成18年12月、アメリカ)
 - 目的：国際経済学に関する共同研究
- (3) 学会・シンポジウム等開催支援 (国内学会・国際学会・シンポジウム・フォーラム・セミナー・ワークショップ等開催への助成)・・・ 2,740千円
- 経済学研究科 (318千円)
 - ・第1回経済学研究科・EUIJ座談会 (平成18年11月、参加者数30名)
 - ・東アジアウィーク第5回共同研究会 (平成18年11月、参加者数40名)
 - ・COE経済パラダイム研究集会 (平成19年1月、参加者数19名)
 - ・理論研究会 (技術進歩と経済成長) (平成19年9月、参加者数7名)
- 経営学研究科 (999千円)
 - ・第55回ワークショップ (平成18年9月、参加者数43名)
 - テーマ：BtoB情報ネットワーク戦略の次なる展開
 - ・第56回ワークショップ (平成18年12月、参加者数49名)
 - テーマ：小売業のSCMとB2B：本質と課題
 - ・第57回ワークショップ (平成19年3月、参加者数61名)
 - テーマ：配当政策—理論とプラクティス—
 - ・第17回シンポジウム (平成18年11月、参加者数126名)
 - テーマ：日本から生まれるグローバルスタンダード
- 法学研究科 (76千円)
 - ・金融法学会第23回大会 (平成18年10月、参加者数400名)
 - ・第1回法学研究科・EUIJ座談会 (平成19年3月、参加者数40名)
- 国際協力研究科 (96千円)
 - ・第10回日本ジェンダー学会 (平成18年9月、参加者数60名)

○経済経営研究所 (1,250千円)

- ・ワークショップ（平成19年1月、参加者数58名）
テーマ：量的緩和政策の効果
- ・ワークショップ（平成19年2月、参加者数28名）
テーマ：In the Wave of M&A: Europe and Japan
- ・ワークショップ（平成19年2月、参加者数200名）
テーマ：少子化時代を生きる

(4) その他

○経済学研究科 3,000千円
・金融経済研究支援（使途指定の寄付金によるもの） (3,000千円)

2 学術成果の公開

(1) 学術研究成果刊行支援（学術研究成果刊行への助成） 3,080千円

○経済学研究科 (2,380千円)

- ・橋野知子著『経済発展と産地・市場・制度—明治期絹織物業の進化とダイナミズム—』ミネルヴァ書房
- ・高橋克秀著『アジア経済動態論』勁草書房（神戸大学経済学叢書第14輯）

○国際協力研究科 (700千円)

- ・香川孝三・金子由芳編著『テキストブック法整備支援論』ミネルヴァ書房

(2) 海外学術雑誌投稿支援（海外学術雑誌投稿への助成） 129千円

○経営学研究科 (129千円)

- ・教員の研究論文海外学術雑誌投稿支援

3 教育の充実

(1) 田崎奨学基金による奨学金支給（1名） 100千円

国際協力研究科博士課程前期課程：藤川久美

(2) 大学院学生に対する支援 2,161千円

○経済学研究科 (86千円)

- ・分析ソフト購入

○法学研究科 (2,075千円)

- ・大学院学生の海外研究活動支援（2名）

法学研究科：金 海英、田 漢哲

- ・エクスターンシップ実施支援

4 学術基盤の整備

- ・平成18年度は該当事業なし

5 学術交流施設の維持

(1) 学術交流施設維持支援（学術交流施設の維持・管理等への補助） . . . 12,936千円

- ・「ロイ・スミス館」の老朽化箇所に対する大規模修理の実施 (10,755千円)